

カウンセル

辻 淳子

Junko Tsuji

大阪弁護士会所属（2000年登録 53期）

弁理士（2012年登録）

拠点

大阪事務所

主な取扱分野

知的財産

知財取引（特許・商標・意匠・著作権・ノウハウ）/ 不正競争 / ライセンス・フランチャイズ / 知財争訟

ライフサイエンス・薬事・医療

医薬品・医療機器のライセンス・研究開発 / 産学連携 / 医薬品・医療機器の製造販売業等 / 紛争解決 / 医薬部外品・化粧品・美容

コーポレート・M&A

一般企業法務 / ベンチャー支援

紛争解決

知財争訟

個人情報・AI・IT・デジタル

個人情報保護・プライバシー / AI・機械学習

産業別分野

不動産 / 環境 / IT・インターネット・情報通信

主な経歴

1987年

京都大学理学部卒業

1987-1991年

住友化学工業株式会社（現住友化学株式会社）

1993～1996年

公益財団法人大阪バイオサイエンス研究所

1999年

大阪大学法学部第3学年修了

2000～2003年

弁護士法人大江橋法律事務所

2002年

University of Washington School of Law (Seattle) 知的財産法修士課程（IP LL.M.）修了

2003～2006年

岡田春夫総合法律事務所

2008～2015年

小松法律特許事務所

主な役職・公職等

2025～
農林水産省 国立研究開発法人審議会農業部会専門委員

2025～
日本知的財産仲裁センター 調停人・仲裁人・判定人候補者

2024年度
独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）知財アクセラレーション事業（IPAS）知財戦略プロデューサー

2024～
農林水産省 委託プロジェクト知財アドバイザー

2023～
同志社大学大学院法学研究科非常勤講師「国際知的財産法」

2022～
日本弁理士会研修所顧問

2020～2022年
特許庁審判実務者研究会委員

2019～2025年
内閣官房 健康・医療戦略推進専門調査会委員

2018～
一般社団法人日本知的財産協会（JIPA）研修講師「特許侵害訴訟」

2017-
日本弁護士連合会 知的財産センター委員

2017年度～2019年度、2024年度～
日本弁理士会 特許委員会委員

2017～2023年
特許庁工業所有権審議会委員

2017年度～
大阪弁護士会 国際委員会委員

2016年度、2017年度
日本弁理士会 技術標準委員会委員

2016～
弁護士知財ネット農水法務支援チーム

2016年度
大阪弁護士会 常議員

2015年度、2016年度
大阪大学知的財産センター招へい教授

2015年度～2017年度
発明推進協会模倣被害対策アドバイザー

2015～2017年
特許庁工業所有権審議会臨時委員

2015年度、2016年度
日本弁理士会 バイオ・ライフサイエンス委員会副委員長

2013年度～2016年度、2020年度～
日本弁理士会 バイオ・ライフサイエンス委員会委員

2013年度、2015年度
日本弁理士会 能力担保研修講師

2012年度～2015年度

2007年度～
大阪弁護士会 知的財産委員会委員

2003～2007年
京都大学大学院医学研究科知的財産経営学コース非常勤講師

執筆情報

2026.05.10	農林水産関係法務の多面的考察「木と虫に関する技術と知財」
2026.01.30	(Q67) 属地主義
2025.12.10	農業系及び環境系バイオベンチャーの知財・ビジネス戦略の例
2025.01.20	「10条 秘密保持命令」「11条 秘密保持命令の取消し」
2025.01.10	欧州統一特許裁判所第一審中央部ミュンヘン支部2024年7月16日判決～機能的表現を用いた抗体医薬特許に対するセントラルアタック～
2022.05.30	第2章データ取引契約 データ創出契約
2020.09.10	コンピュータソフトウェア(CS)関連発明の国内裁判例の分析
2020.08.13	『種苗法の一部を改正する法律案』の検討 植物新品種の保護に向けて
2019.12.10	AI・IoT関連発明の適切な保護について
2019.09.14	Q21農林水産業・食品産業における特許による保護
2019.07.10	～ソフトウェアの生産譲渡等が装置の発明の間接侵害(特許法101条2号)に該当するとされた事案～
2019.05.30	「Q13 発明性(4) - ビジネス方法」「Q42 出願(2) - サポート要件など」「Q76 クレームの用語」
2019.05.10	進歩性に関する近時の裁判例の傾向分析
2018.07.06	7. 複数の権利者
2018.05.28	移送
2017.09.29	Q81 ライセンス(2)
2017.09.29	最近の特許審決取消訴訟裁判例にみる医薬発明の『顕著な効果』
2015.03.20	第2章 化学・医薬分野における進歩性
2014.11.20	抗体医薬：アミノ酸配列による特定を含む特許請求の範囲の『誤記の訂正』
2014.11.10	米国連邦最高裁Myriad事件判決およびその影響
2014.09.05	「第10条(秘密保持命令)」「第11条(秘密保持命令の取消し)」
2013.08.10	Myriad米国連邦最高裁判所判決(2013.6.13)～遺伝子特許の特許保護対象としての適格性～
2012.04.04	- 2 複数権利者の請求
2011.11.05	「特許権に関する訴え」の範囲 - 冷凍システム事件
2010.11.19	特許権の消尽 - インクカートリッジ事件 -
2007.06.25	第3章第1 研究・技術委託契約
2004.11.01	大学発ベンチャーと特許の行方：今後の展望に向けて

セミナー情報

2026.02.17	日本弁理士会付記弁理士制度20周年記念シンポジウム パネルディスカッション「近年の知的財産侵害訴訟に関して」
2024.11.15	2024.7.16 欧州統一特許裁判所第一審中央部ミュンヘン支部判決 459505/2023 (UPC_CFI_1/ 2023)

2024.02.29	抗体薬物複合体（ADC）に関する米国紛争事案
2023.01.26	植物品種を含む遺伝資源の保護の在り方
2022.09.26	水産知財イベント「水産業の現状と水産政策の方向性並びに優良系統等の水産資源等についての知財保護の最新動向」
2021.11.27	日本知財学会第19回年次学術研究会弁理士会協賛セッション「バイオテクノロジー技術を利用した植物品種の保護」
2021.10.21	国際知財シンポジウム（JSIP）2021～アジアにおける知的財産紛争解決～法務省プログラム「商標権侵害に関する民事訴訟」
2020.11.30	機能的表現を用いて記載された抗体医薬発明についての裁判例の検討
2019.02.25	MOBIOセミナー「IoTの法律問題～データ利用に際する留意点～」
2021.02.21	平成29年度特許委員会公開フォーラム「近年の判決からみた明細書の留意事項～特許要件、充足論からみて～」
2017.09.08	秘密保持契約の留意点
2017.07.10	医薬・バイオ分野の審決取消訴訟～最近の裁判例から～
2016.11.29	技術標準と知的財産
2016.07.13	知的財産権侵害訴訟実務～医薬・バイオ・化学分野を中心に～
2014.10.28	中国の営業秘密保護の変遷
2010.07.22	知的財産連続研修第8回「複数権利者」
2003.11.26	第1回産学連携セミナー「権利侵害と訴訟」

使用言語

日本語・英語